



七転八起！火の鳥のごとく炎の翼で旅をする！

和太鼓集団倭 30 周年記念世界ツアー



「火の鳥」" Hinotori" - The Wings of Phoenix

再び夜明けが見え始めてきた
今こそ、立ち上がる時なのだ

私たちは負けなかった
高く聳える山にぶちあたっても
深い谷に足をすべらせひっくり返っても
何度も立ち上がってきた

どこまでも行けると過信し始めたその時

大空の下、地球の上

見たこともない大きな山が立ちはだかった
これまでに滑り落ちたどんな谷よりも深い谷に沈んだ

巨大な山の影に
真っ暗な谷底の暗闇に
飲み込まれていた

絶望と希望

しかし、我々はその向こうに輝く太陽を忘れなかった

もがき続けながら歩き続けた先に
再び光が見えている

今こそ再び立ち上がり
飛び立つのだ

火の鳥だ

高く飛び陽の光を纏う

燃え上がる魂の翼を拡げた

我々は火の鳥だ

YAMATO World Tour 2023-2024 「火の鳥」 "Hinotori" -The Wings of Phoenix

プログラム

1. 羽撃 Habataki - Wingbeat

有史以来、幾多の困難を超えて人は歩き続けてきた
そして今を生きる我々もまた、荒ぶる波に飲まれ翻弄されている
嘆きや悲しみを全身で抱えながら、今こそ、不死鳥が火の鳥となって蘇るが如く羽撃こう
我々の体の真ん中で打ち鳴らされる心臓の鼓動
そのエネルギーを翼に変え、飛び立とう

2. 遠音 Toon - Tone

様々な人生、様々な風景、人間模様、好きなものや嫌いなこと
色とりどりに彩られた日常とこの世界と私とあなたと
耳をすませば聴こえてくる、遠い場所からの音色

3. 熱情 Netsujoh - Passion

心の中に感じる、燃え上がる様な激しい思い
身体の中で炎のごとく熱く燃え上がる魂
その魂の炎を提灯に灯して歩いてゆく
情熱を掲げ、太鼓を打ち鳴らしながら

4. 颯 Hayate - Invigorating breeze

火の鳥の翼がはためく
爽快な風が木々を揺らし、水面に波紋が踊る
混沌の風景を貫き、未来へと羽ばたく翼よ
希望の光へ、一直線にゆけ

5. マスラオ Masurao - The Brave Heart

古来、和太鼓は常に人々を勇気づけてきた
命を祝す祭りの中心に在り、人々はその音に引き寄せられ、唄い、踊った
奏でられる勇壮な響きに生きる勇気、戦う勇気を奮い立たせた
我々も奏でよう
その勇気の音を今日、この場所で

休憩

6. 楽打 Rakuda – Joy of the Beat

楽打とは、「楽しい」という言葉の「楽」という漢字と「太鼓を打つ」の「打」という漢字を組み合わせた造語です。音の響き（発音）は日本語で動物の「らくだ」をイメージしています。らくだの少しとぼけた様な感じ、果てない砂漠を飄々と歩いている感じをイメージしながら「楽しく打つ」それが楽打という曲です。倭の代表曲とも言える曲で、倭はこの曲と共に、果てない世界を旅しています。

7. 烈火 Rekka – Wildfire

読んで字のごとく、烈しく燃える炎という意味を持つこの曲
共に切磋琢磨し合う者同士が太鼓を通して火花を散らす。
個性豊かにぶつかり合う心臓の鼓動のエネルギー。
いつしか心音がシンクロし始めます。

8. 我楽多 Garakuta – Odds and Ends

我楽多とは、使い道がなく役に立たなくなったもののことです。
でもそれはゴミではなく、もしかしたら誰かの宝物かもしれません。
漢字で書くと、意味は「我（Ga）、楽（Raku）、多（Ta）」＝「I have fun」。
多分、訳があつてこの世に生まれたけれど、それほど役にもたっておらず・・・。
でもまあ私なりに色々考えて今日も生きている。
和太鼓ではなく、チャップパという小さな楽器を使ったコミカルな曲です。

9. 炎人 Enzin – Ball of Fire

七転八起、全力でいこう
倒れても起き上がれ
疲れて寝てばかりは体に悪い
あれこれ細かいことは考えず突き進もう
成せばなる、成さねば成らぬなにごとも
今日もエンジン全開！